

『農学 I 実力完成講座 過去問演習編 昆虫学』(KU03097)

訂正表

2020年05月26日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
P. 35	[No. 30] の正答番号	誤	[No. 30] 正解 <u>4</u>	2020/05/26
		正	[No. 30] 正解 <u>5</u>	
P. 35	[No. 30] 肢4の解説	誤	4 妥当である。 そのとおり。	2020/05/26
		正	4 妥当でない。 ハウス外への逃亡・定着が問題となっているのは、働き蜂ではなく、新女王蜂と雄蜂が逃亡して新しいコロニーを作ることである。	
P. 35	[No. 30] 肢5の解説	誤	5 妥当でない。 キイロシヨウジョウバエは主に遺伝学の研究材料として知られるが、ヒラタコクヌストモドキは貯蔵害虫として知られ、特別に遺伝学や生態学の研究材料とはなっていない。また、カイコやゴキブリ類は生理学だけでなく、遺伝学や発生学の材料にもされている。	2020/05/26
		正	5 妥当である。 キイロシヨウジョウバエは、主に遺伝学の研究材料としてよく知られる。ヒラタコクヌストモドキは、貯蔵害虫であるため、遺伝学や生態学などの研究がなされ、また、試験用昆虫としても販売されている。	

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。